帝国の分裂とキリスト教

395 年、ローマ帝国が東西に分割された。西ローマ帝国は1世紀も経たずに滅ぼされたが、東ローマ帝国こと ビザンツ帝国はおよそ 1000 年続いた。ビザンツ帝国ではローマ帝国からキリスト教を国教として継承し、独 自に発展させた。

○ローマ帝国の東西分割

●ディオクレティアヌス帝の治世

| 3世紀末、(1) | は次のことでローマの分裂を回避しまた |
|------------------|---------------------|
| ①四帝統治(| テトラルキア) |
| …帝国を東 | と西に分け、それぞれの正帝・副帝が統治 |
| ② ⁽²⁾ | (ドミナトゥス) |
| …皇帝を神 | として礼拝させて専制君主化 |

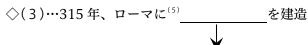
●コンスタンティヌス帝の治世

は、迫害されてきた⁽⁴⁾ を公認し、 帝国の統一を図った。



四帝分治制を記念する彫刻

⇒330年、古代ギリシアの植民都市ビザンティウムをコンスタンティノープルと改称し、 ローマより遷都した。



改革を支える重税は、あいつぐ属州の反乱を招いた。

⇒375年に始まるゲルマン人の大移動で帝国は混乱に陥った。



コンスタンティヌス帝

●テオドシウス帝の治世

| 395 年、 ⁽⁶⁾ | は、帝国を東西に分割して2子に分け与えた。 |
|-----------------------|-----------------------|
| 東: ⁽⁷⁾ | _(首都コンスタンティノープル) |
| 西: ⁽⁸⁾ | _ (首都ローマ) |

●西ローマ帝国の滅亡

476年、西ローマ帝国はゲルマン人の(9)

によって滅ぼされた。



コンスタンティヌス帝の凱旋門



ローマ帝国の領土

〇キリスト教

···431 年の⁽²²⁾

●キリスト教の成立

ローマの属州となったパレスチナでは、ユダヤ教祭司や利法の実行を重んじるパリサイ派が、 ユダヤ人を支配する層として存在した。

⇒彼ら支配層は、貧困に苦しむ民衆の声に応えなかった。 は、司祭やパリサイ派を批判し、貧富の区別ない神の愛を説いた。 →民衆はイエスを救世主(メシア)と信じて彼の教えに従った。 →しかし、イエスはローマに対する反逆者として訴えられて処刑された(30年頃)。 ⇒弟子たちはイエスの復活と贖罪を信じ、この信仰を中心にキリスト教が成立した。 ◇メシア …この語のギリシア語訳が「キリスト」 ◇キリスト教の教典 …『旧約聖書』と、コイネーというギリシア語で記された『新約聖書』 ●伝道活動 ペテロや⁽¹¹⁾ などの使徒によって伝道活動が始まりました。 ⇒特にパウロは、神の愛がユダヤ人以外の民族にも及ぶとして、パレスチナ以外の地域にも、 キリスト教を布教しました。 ●迫害から国教化へ ローマの宗教は多神教で、皇帝も神の一人とされた。 →皇帝崇拝が強化されると、唯一絶対神を信じるキリスト教徒は反社会集団とされた。 ⇒64 年の⁽¹²⁾ や 303 年の⁽¹³⁾ による迫害が有名である。 迫害の一方でキリスト教は拡大を続け、信仰を禁止すれば帝国の維持ができない状況となった。 ⇒次のようにキリスト教の扱いが変化した。 313 年、(14) ...(15) がキリスト教信仰を公認した勅令 325 年、(16) …キリストを神と同一視する⁽¹⁷⁾ が正統教義とされ、 が異端とされた会議 キリストを人間とする⁽¹⁸⁾ ◇アタナシウス派 …後に神・キリスト・聖霊を同一視する⁽¹⁹⁾ を確立 がアタナシウス派キリスト教を国教とした(他派は厳禁)。 ⇒キリスト教が国家権力と結びつくと、聖職者身分が成立し、教会の組織化が進みました。 ◇アリウス派 …異端とされ、北方のゲルマン人に普及

で異端とされ、唐代の中国に伝わって(23) と呼称